

ふれあい

主な内容

- 芸能音楽祭 1P
- 気になる地域内の放射線とミニ知識 2P
- 地元の歴史 2P
- あれやこれや / 私のたのしみ 3P
- 地域のわだい 3P
- 私の散歩道 4P
- 部会だより / 地域部委員会 4P
- 編集後記 4P

●発行所/ひたちなか市長堀町3-4-1 (1中地区コミュニティセンター内) 電話029-275-2671 ●発行責任者/大和田 敬治 ●編集/広報委員会



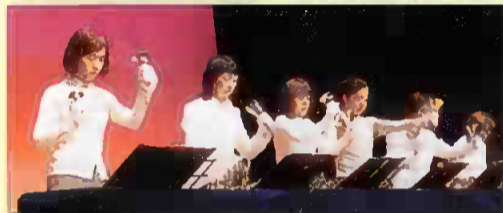
富士山自治会



金上自治会



フォークダンス・ロンド



Rings!

芸能音楽祭

2月26日、ひたちなか市文化会館小ホールにおいて、「第21回芸能音楽祭」が31団体約500人の参加で開催された。躍動感あふれる踊り・ブコ並の演奏・響きある歌声など、各団体は日頃の練習の成果を十分に発揮した舞台だった。次々に披露される演技は観客を魅了し、最後は大勢の観客から惜しめない拍手が送られ閉会した。



大平自治会



勝田駅前南自治会



スイーツ・ウクレレ



大成町自治会



勝倉自治会



楽しいフラダンス



詩舞剣舞の会



Poppy Pop Dance Team



詩舞剣舞の会

芸能音楽祭に参加して

嫡流剣詩舞の会 大輪 知子

毎週火曜日、楽しく稽古をしています。そんな私たちにも緊張の一瞬があります。舞台を踏む時です。「深呼吸をして！背筋を伸ばして！さあ、舞台です」会場からの拍手は春風のように心地良く、明日へのパワーを与えてくれました。仲間が心一つにして踊れたことは、思い出に残る一日でした。ただ、感謝です。



姉妹都市の復興を願って

西中根六美会 海野吉輝

東日本大震災からまもなく1年。共に被災した石巻市とひたちなか市は、姉妹都市であることから一日も早い復興を願って、西中根六美会では宮城県民謡「斎太郎節」を選曲しました。半年前より練習を重ね、12人が参加して斉唱しました。会場の皆様から喝采をあげ、退場の折「石巻市とは姉妹都市でしたか！斎太郎節は良かったですね」との言葉に、元気をいただきました。



舞台に立てた喜び

あおいの会 吉川 真理子

私たちは、子どもたちの豊かな心と表現力を養う活動をしているサークルです。初めての参加で皆緊張しましたが、曲が流れると会場から湧き上がった手拍子に心が温くなりました。人と人との深い絆と一つの目標に向かって皆で頑張れることの素晴らしさを、子どもたちは体感できたと思います。ありがとうございました。



気になる地域内の放射線とミニ知識

一中地区内3ヶ所の公園を対象に、空間放射線量率の測定を行いました。その結果、常時立ち入る芝生、歩道などでの値は、茨城県環境放射線監視センターが公開しているひたちなか市のデータと同程度であり、異常は認められませんでした。

一中地区内公園の空間放射線量率の測定

- 測定日：平成24年2月9日（木）
- 天候：晴
- 測定場所：石川運動ひろば、長堀公園、中根上野公園
- 測定機種：市貸出測定器（TC100）
- 測定方法：地面から50cm、1mで測定
- 測定結果：常時立ち入る芝生、砂場などの地面から50cmの空間放射線量率の平均値は **0.108 ~ 0.133** マイクロシーベルト/時間、地面から1mの高さの平均値は **0.101 ~ 0.126** マイクロシーベルト/時間でした。立木の下、植込みでは局所的にやや高いところがありました。

各公園における測定値 単位：マイクロシーベルト/時間 (μSv/h)

公園名	測定地	測定地点	地面から50cm	地面から1m
石川運動ひろば	芝生	5地点平均	0.109	0.111
	歩道	3地点平均	0.108	0.104
	立木の下	4地点平均	0.151	0.155
	植込み	4地点平均	0.277	0.265
長堀公園	芝生	5地点平均	0.117	0.112
	砂場	5地点平均	0.133	0.124
	遊具	4地点平均	0.120	0.115
	立木の下	5地点平均	0.166	0.157
中根上野公園	植込み	5地点平均	0.149	0.145
	芝生	5地点平均	0.112	0.109
	砂場	5地点平均	0.125	0.126
	歩道	5地点平均	0.112	0.113
	遊具	4地点平均	0.126	0.123
	立木の下	5地点平均	0.201	0.197
	植込み	5地点平均	0.175	0.171



芝生



石川運動ひろば

歩道



遊具



長堀公園

植込み



立木の下

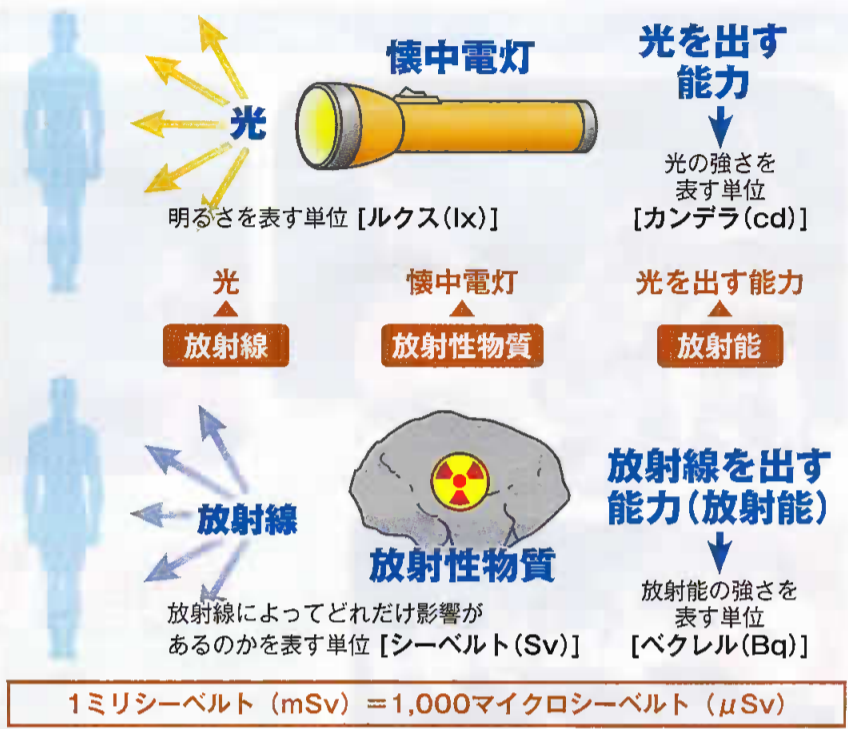


中根上野公園

砂場

放射線と放射能

放射線、放射能を光にたとえると、放射線は光で、放射能は光を出す能力といえます。放射能を持つ物質が放射性物質です。



私たちは自然界からも放射線をうけています

(外部被ばく)

(内部被ばく)

1年間に受ける自然放射線量 2.4ミリシーベルト (世界平均)

- 宇宙線から
- 大地放射線から

- 空気中のラドンなどの吸入から
- 食べた食物などから

除染はどのように行えばよいのでしょうか？

雨樋の真下、側溝、芝・草むら、立木、植栽の植え込みの土などで、局所的に線量が高くなっている場合があります。その際、次のような除染方法をとることが有効です。

〈雨樋真下〉

雨樋から直接地面に流れ落ちてくる場合、雨樋真下の土を除去し、その後、覆土する。

〈側溝〉

堆積している土砂をシャベルなどで除去する。

〈芝・草むら〉

根に付いた土ごと除去する。

〈立木〉

根元の周辺の土をスコップなどで約1cmの深さで除去する。

〈植栽の植え込み〉

シャベルなどで約1cmの深さで除去する。

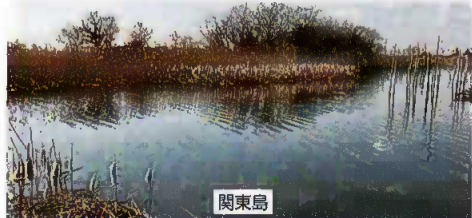
○除去した土壌等の当面の処理方法

敷地内に穴を掘り、埋設（土をかぶせる）する。

詳細は、茨城県原子力安全対策課ホームページ参照



百色山



関東島

ひたちなか市の勝田橋手前から那珂川下流方面に進み、三反田上瀬地区の川岸に「か所」だけ、小さな中州（関東島）が見える所があります。ここは、寛永年間（一六六〇年頃）に水戸光圀公が約百種類の樹木や薬草を植えたことから、百色山と呼ばれています。

当時の百色山はかなり広い面積を有し、四季折々に花が咲き乱れる地として、人々に愛された景勝地でした。しかしその後、たびたびの洪水により川岸が削り取られ、その幅が半分以下になったようです。現在、川岸には百色山見本林として、エノキやモチノキの巨木（推定樹齢三百年以上）がそびえ、那珂川を眺める事が出来る、ちょっとした憩いの場所になっています。

昭和に入り、水戸の豪商四代目、木村伝兵衛はこの「百色山」の荒廃を嘆き、光圀公の遺志を継いで、水戸の酒門村にあった木村家伝来の杉林を拓き「百樹園」を作りました。今では水戸市が管理していますが、こちらは完全な植物園となっています。

百色山から那珂川を挟んで、水戸方向を眺めた夕景は格別です。関東島は現在荒れていますが、春には桜が咲き、なかなかきれいです。

昨年の三月十一日の震災で川岸の一部が崩れ、立ち入り禁止になっている所があります。三月から五月にかけて、復旧工事が行われる予定です。

地元の歴史

ひたちなか市 百色山

私のたのしみ



満足できる「獅子頭」を作りたい！

大間 松好さん

獅子頭作りを楽しむ、金上にお住まいの大間松好さん（66）にお話を伺いました。

物作りに関心があった大間さんは、定年を迎えた時に獅子頭に興味のある友達と一緒に、石岡から獅子頭作りで有名な田村先生を迎え「獅子頭彫刻研究会」を8人で発足したそうです。

獅子頭作りは、①桐の木をあごや鼻・頭・耳などの形に削り、組み立てる ②表面が平らになるまで紙やすりで削る ③和紙を張り滑らかにする ④黒い塗料を塗って磨く（納得いくまで数回）⑤仕上げの赤い塗料を塗って磨く（同じ）⑥目やまゆ毛・ひげなどを描く ⑦金箔や毛を付けて完成と、大変手間がかかります。

大間さんは金上芸友会でもご活躍で、その他仕事の合間に獅子頭を作るため、一体仕上げるのに1年位かかるそうです。「一番大変なのは、金箔貼りだよ。金箔は薄くて、少しでも風や埃があるとしわができてしまうからね。そっと柔らかい布で押さえながら貼るんだよ」「いい加減に作るのは嫌だから、てらてら光るまで、何回も塗料を塗り直しては磨くんだよ」と、ご苦労についても熱く語ってくれました。

手放す時には、一家の身体健護を見守る獅子として飾られる事を念じるそうです。「出来上がった時が一番嬉しい。でもまだ、本当に良く出来たという物はなくてね。目指すは一刀彫！」と、ますます獅子頭作りに意欲的な大間さんでした。



今年までの、自分だけ良ければよいという風潮が、改善されつつあると云う



「一中地区地域のふれあいを広める会」もこの絆を強める重要な組織であることを再認識し、皆でこの活動を活発化することが大事だと思います。

一月八日に富士山自治会では、「新春の集い」と銘うって富士山公園で餅つきを行いました。



このような行事を通して、ふれあいの場が広がって元気にいきいきと過ごすことが出来れば、と思うところです。

あれや・これや...



ふれあいの会で地域の絆を深めよう

駅前南自治会

根本 忠

去年は、誰も今までに経験したことがない巨大地震と大津波が、東日本を襲いました。しかも、放射能の危険にさらされた歴史に残る恐ろしい年でした。特に、大津波と放射能による災害は莫大な人命と家屋を奪い、復旧には相当な時間がかかると思われます。しかし、今回の震災を契機に、人と人の心の絆と助け合いの重要性を皆が強く感じました。

ことです。テレビなどもつまらない番組が多かったのですが、最近ドキュメントの感動悲話などが多くあり、大分改善されてきており結構なことと思います。

清水寺住職による昨年の漢字も「絆」が選ばれました。地域の絆はこれからも本当に大切だと思います。

「一中地区地域のふれあいを広める会」もこの絆を強める重要な組織であることを再認識し、皆でこの活動を活発化することが大事だと思います。

石巻へ

中根自治会

佐藤 伸子

昨年未、遅時きながら石巻へ伺った。日和山から見下ろすそこは荒涼たる風景であった。石巻市民病院と、生徒たちを失った大川小学校が廃墟と化し、その無念さを物語っていた。

歴史の中で繰り返された災害は、我が身には想定出来ないものだ。「災害は忘れたころにやってくる」とは、先人たちが後世に語り伝えた重い言葉だと改めて思った。

夜、居酒屋で一皿を分け合う80代の二人。店の店主・道案内の青年、皆息せき切った様に津波の

四年目を迎えた新春の集い

富士山自治会

大島 吉美

今年で四回目を迎え、地域の住民にも浸透してきて、10時頃から三々五々集まってきました。10時50分頃から餅つきを始め、3臼つきました。見事な掛け合いで美味しい餅がつきあがり、子供会育成会のお母さんたちがお汁粉・きな粉餅・大根おろし餅・納豆餅などを作って配ってくれました。餅は年中食べられますが、杵つき餅は格別です。

あいにくこの日は消防出初め式と重なり、私は式に参加。「地域に戻れば美味しい餅が待っている」と思うと寒さもなんのそのでした。

地域のわだい

無病息災を願いまゆ玉づくり

中根自治会

中根小学校で小正月（15日）の伝統行事「まゆ玉づくり」が開かれました。「一中地区地域のふれあいを広める会」青少年部会の主催で中根小児童を含む地域の子どもたちや保護者・お年寄り約160人が参加して、今年の無病息災を願いました。（まゆ玉づくりは昔から五穀豊穡や無病息災を願って小正月に行われている）会場では子どもたちがもち米から作った紅白の餅を手に取り、嬉しそうに桜の枝に餅を付けていました。

杵と臼を使った昔ながらの餅つき体験も行われ、きな粉餅がふるまわれました。



地域を守るパトロール隊

笹野自治会

毎週日曜日、午後4時から1時間位かけて町内の防犯パトロールを実施しています。パトロール隊は自治会役員・班長・組長・防犯連絡員38人で構成し、毎回3人1組交代で活動しています。

笹野町は昭和通りを挟んで南北に分かれており、両地域の公共施設や道路脇に不審物はないが、不審な人物はいないが、交通安全上で気になるようなところはないかなど眼を光らせてパトロールしています。



子どもたちの安全を願って

勝倉地区

2月の筑波下ろしで冷え込んだ朝、勝倉小学校西側階段下交差点で「おはようございます」と元気な声が聞こえます。関 勅さん・武石耕一さんは子どもたちの安全を願い、登下校時通学路や街頭で立哨やパトロールを続けています。関さんは5年前自治会役員在任中、子どもたちの安全に関心をもち、地区内を知っている事・安全を理解する事が重要であると自主的に防犯活動を始めました。3年前からは、武石さんも加わりました。また、通学路沿いの見通しの悪い所は草刈りなどを行い、子どもたちの安全を見守り声をかけ、慕われています。ドライバーの皆さんも安全運転をお願いします。



わたしの散歩道

今回は、青葉・石川地区を紹介します。ひたちなか総合病院が新しくなり、マンションが増え、健康いきいきロードが整備されて、街並みや景観が変化しています。車をパーキングに停めて、ちょっとおしゃれになった街を歩いてみると、新しい発見がありますよ。

ひろばには、1周700mのジョギングコースがあり、大勢の人が歩いたり走ったりしています。また、春は桜が咲き見事です。

健康いきいきロードは広い歩道で、足元が明るくなるようソーラー発電の街灯がついています。

歩道脇のベンチ

病院脇の第2公園は、リフレッシュ広場や銅像などがあり、病院の利用者に安らぎを与えています。

高層マンションは、夜景も見ごたえがあります。

羽黒山・月山・湯殿山供養碑、西三十三所供養碑が建てられています。

時々、高齢者クラブの方々が、ゲートボールの練習をしています。

石川の土神様と呼ばれ、元日には大勢の初詣客が訪れます。

第4公園は、「音と香りのドーム」やアスレチックベンチ・遊具・遊歩道があります。春は桜がきれいです。

部会だより

環境部会

11月25日、行政施設見学会を実施。勝田環境グループのバイオマス発電所や、天ぷら油などの廃油からバイオディーゼルの燃料を精製する設備などを見学した。バイオマス発電所では木くずを燃料として発電。また、公民館や市役所に集められた食用廃油を回収して燃料に精製し、ゴミ収集車や市の福祉バスに有効利用されている。

体育部会

12月17日、松戸体育館において、市体育協会が普及拡大に取り組んでいる、ヘルスバレーボールの実技研修会が開催された。

ヘルスバレーボールは、ラグビーボールを大きく膨らませた形の柔らかいボールで行うので、空中で動きが変化し、ハプニングが起こりやすい。技術の程度にかかわらず楽しめる、子どもから高齢者まで幅広く簡単にできるスポーツである。

青少年部会

2月5日、約80人が参加し、あだたら高原スキー場で、親子ふれあいスキーを実施した。子どもたちは吹雪舞うゲレンデに転がり、歓声を上げていた。また、スキースクールや親子でのスキーを一日楽しんだ。帰途のバスの中では「楽しかった」「また来たい」との声と笑顔であふれていた。

地域部委員会

放射線と健康影響

1月27日、一中地区コミユニティセンターで研修会が開催され、各自治会長など35人が参加した。日本原子力研究開発機構の職員により、①私たちは、年間2.4ミリシーベルトの自然放射線を受けていること(世界平均) ②現在、茨城県内は普段の生活を送って問題ないことなどの説明があり、参加者は放射線被ばくへの不安が軽減されたもよう。それでも、時間が足りないほどの質問が相次ぎ、関心の高さがうかがえた。続いて、自然放射線を実際に測定する「放射線測定体験」も行われた。

震災後記

東日本大震災から一年が過ぎ、道路や建物の修理はかなり進んでいるようですが、福島原発の放射能もれについては、目に見えない物なので不安は消えません。

そのため、今回の「ふれあい」では一中地区の放射線について特集しました。少しでも皆様のお役に立ち、安心して生活していただけたら幸いです。

